

平成29年度 学術部事業報告書

事業名	郡市区歯会学術担当理事連絡協議会
担当部	学術部
日時	平成29年8月5日（土） 16：00～17：45
実施場所	北海道歯科医師会館5階 役員会議室
内容	道歯の意向として、会員向けに学術講演会の内容を充実したい。 今期は交通費を含めて予算は縮小したと思っていたが、拡大したとの事。 ・申請書は講師が決まったら提出して欲しいとの事。 ・講師謝礼の 道外（大学教授等）89.096 円、道内（大学教授、臨床医等）66.822 円となっているが、開業医を含み道外か道内で区別するとの事。 ・交通費は道歯の規程が有り、問い合わせ願いたいとの事。 ・謝礼には源泉も含まれるとの事。
報告および感想	17 群市区歯会で、学術講演会の予算が少ないため、道歯の補助金に頼る傾向が認められる。どこの歯科医師会でも悩みのようであった。

平成29年度 広報部事業計画素案

自：平成29年4月1日 至：平成30年3月31日

事業方針

会員及び地域住民等にとり有用・有効な情報を正確且つ迅速に配信することを目標とする。そのための手段として、各部との連携強化及び会員・関係諸機関等から広く情報提供を受け、それを岩歯ホームページや掲示板あるいは岩歯通信等を用いて配信する。

1. 諸会議

「事業方針」を遂行するために、広報事業全般に関する意見の交換や調査研究を行うため次の諸会議を開催する。

- ① 広報部会 インターネット会議を適時
- ② 郡市区歯科医師会広報担当理事連絡協議会（1回）

2. 広報活動の推進

1) 会員向け広報活動

- ① 会務行事の資料収集
- ② 各部と連携による広報活動
- ③ 会員向けホームページの継続
- ④ 会員向けメーリングリストの構築、IT技術を用いた講演会や資料の配信。
- ⑤ 会員手帳の管理（新入会員等の補訂分はシールにて対応）

2) 対外広報活動

- ① 道歯会通信への投稿（29,30年度は担当号の割り当ては無し）
- ② 道歯ホームページへの投稿
- ③ 行政や報道機関等の関係団体に対しての情報提供を行う
- ④ 地域住民向けのホームページの継続
- ⑤ 日本歯科医師会、北海道歯科医師会の行う対外広報活動に協力する。

3) その他、広報に関する事項及びテニス大会への対応

3. 予算 100,000円

- | | |
|------------------------------------|------------------|
| ①岩歯ホームページ保守管理料 | 50,000円 |
| ②理事会メーリングリスト運用費 | 10,000円 |
| ③会員用メーリングリスト運営費 | 10,000円 |
| ④取材費 | 0円（道歯会通信担当号予定無し） |
| ⑤会員手帳、予備費 | 30,000円 |
| （新入会員等の補訂分はシールにて対応 シール 11,000円×2名） | |

平成29年7月25日 作成

平成 29 年度 岩見沢歯科医師会事業計画書

事業名	市町村別保険勉強会
担当部	保険部
実施月日	平成 29 年 9 月 7 日(金)～11 月 11 日(土)
実施場所	栗山、南幌、岩見沢、札幌
参加人数	50 名程度
内 容 ・例年開催している、市町村別の保険勉強会を今年度も開催する。 ・内容は、今年度は SPT の理解をより深めてもらうとともに、最近の国保連合会の審査の傾向についてお話したいと思う。 ・また、個別に質問などにも対応する。 ・9/7(木) 19:30～ 栗山(未定) ・9/27(水) 19:30～ 南幌(未定) ・10/27(金) 20:00～ 岩見沢(いわなび) ・11/9(木) 19:30～ 岩見沢(いわなび) ・11/11(土) 16:00～ 札幌(由仁・長沼・夕張)	
予 算 ・会場費、交通費、懇親会費など併せて 150,000 円程度を予定	

平成 29 年度 公衆衛生部事業計画書

事業名	第 11 回 8020 歯っぴースマイル
担当部	公衆衛生部
実施月日	平成 29 年 10 月 1 日(日) 10:00～16:00
実施場所	岩見沢健康まつり会場 イベントホール赤れんが
参加人数	200 名

【事業内容】

- ① 8020 コンクール受賞式典：受賞者 80 歳代 5 名、 70 歳代 5 名
- ② 図画ポスターコンクール表彰式：低学年 5 名、高学年 5 名
- ③ 市民向け啓蒙活動
 - ・ 歯科医師会：歯科検診、歯科相談、口臭測定、R S S T (⇒判定表別紙あり)
 - ・ 技工士会：歯ブラシスタンド作成、義歯洗浄コーナー
 - ・ 衛生士会：フッ素洗口体験、再石灰化ガム・キシリトール製品の試食
キッザニア歯科体験
 - ・ 岩見沢市保健センター：口腔衛生指導

【会員向け案内】

- ・ 第 11 回 8020 歯っぴースマイル開催案内 ⇒FAX
- ・ 摂食嚥下障害患者への対応に関する資料 ⇒岩歯 HP 掲載 (案)

【予算】

- ① 8020 コンクール (表彰状、盾) / 図画ポスターコンクール (表彰状)
: 30,000 円
- ② 技工士会・衛生士会 (材料費) : 30,000 円
- ③ 予備費 : 10,000 円

合計：70,000 円

(※図画ポスターコンクール景品は、学校保険部が対応)

嚥下機能検査（RSST）を受ける皆さんへ

嚥下機能検査（RSST）は、正しく嚥下できているかを評価するための検査です。

正しく嚥下できていない場合、誤って気管に食べ物やお口の中の細菌が入ってしまいます。このことを、“誤嚥”といいます。誤嚥が慢性的に起こった場合、肺炎を引き起こします。このことを“誤嚥性肺炎”といいます。体力の低下した方が、誤嚥性肺炎になり重症化した場合、死にいたる危険性があります。

嚥下機能検査（RSST）は、簡単に誤嚥の危険性を知ることが出来る検査です。

ご自分でも評価することが出来ます。また、周りのかたで食事中にむせるなど誤嚥の疑いのある方にも、検査・評価することが出来ます。

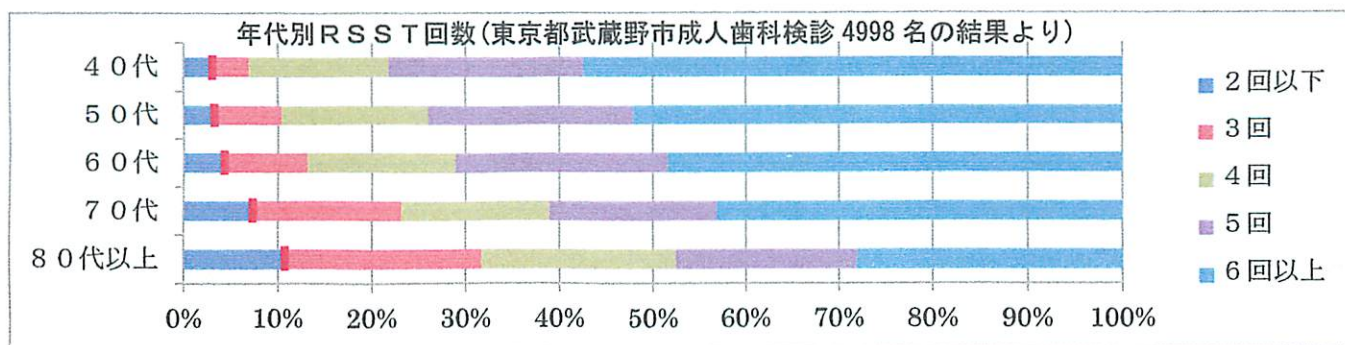
方法

- 第2指の指腹を喉頭隆起（のどぼとけ）にあて、
第3指の指腹を舌骨（のどぼとけの下にある硬い部位）にあてます。
- 30秒間 嚥下運動を繰り返します。
- 喉頭と舌骨が指腹を乗り越え上前方へ移動して、元の位置に戻る回数を数えます。



評価

- 正常値：3回以上/30秒
- 誤嚥の危険性あり：3回未満/30秒 ➡ 歯科医院で相談してください。



＜RSST 3 回未満の方が来院したら＞

RSST(反復唾液嚥下テスト)とは・・・嚥下運動の惹起性を測る検査

検査結果が3回未満の時は、飲み込む働き（嚥下機能）の低下が疑われます。以下のトレーニング（口腔機能向上訓練）を行いましょう。

1) 基本メニュー

口腔機能低下（咀嚼機能低下・嚥下機能低下・高肺炎リスク）に対してその向上を目指して行う訓練すべてに共通して行う基礎訓練メニューです。

まずこれを行いましょう

深呼吸・首肩の運動・顔の運動・頬の運動・舌の運動・下顎の運動

（内容の詳細は参考文献参照）

2) 追加メニュー

今回の検査（RSST）により嚥下機能の低下が疑われる方に対する訓練メニューです。

これらを効果的に組み合わせて機能向上を目指しましょう。

・腹式呼吸の練習

声帯の動きを良くして嚥下しやすくします。

・咳の練習

咳をすることによって喉の奥に入ったものを吐き出し、誤嚥を防ぎます。

・感覚の刺激

嚥下反射を起こしやすくする訓練です。

温度差等による刺激で嚥下反射を誘発します。

・唾液腺マッサージ

口が乾くと舌や口唇、頬の動きが悪くなり食物の飲み込みが悪くなります。

マッサージにより唾液の量を増やし飲み込みを改善しましょう。

（内容の詳細は参考文献参照）

参考文献・・特定高齢者 ハイリスクアプローチ・・佐賀県歯科医師会

（監修：九州歯科大学摂食機能リハビリテーション学分野）

岩歯ホームページ、DataBox 公衆衛生部に掲載